

園名： 中央区立中央幼稚園 所在地：中央区湊1-4-1

園長名： 山本 有子

園児数： 66名 学級数：4学級 教員：6名（園長1名）

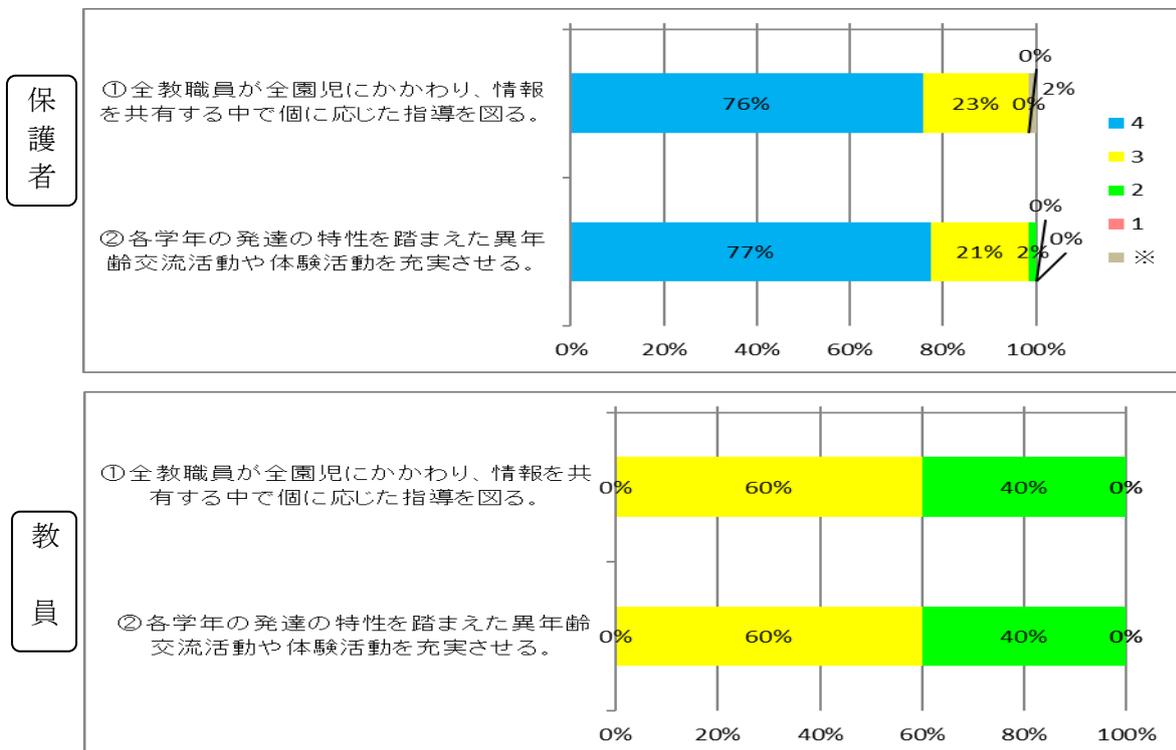
★本園では、Ⅰ主体的に学び行動する基礎の育成、Ⅱ豊かな人間性の基礎の育成、Ⅲ健康な体力・安全な生活の素地の育成の3点を重点目標に教育活動を行いました。これについて、教員の自己評価アンケートを行うとともに、令和3年12月に保護者の皆様に園評価アンケートを実施しました。回収率は100%です。

＜重点目標の達成状況及び取組状況＞

保護者の重点目標3項目の「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた平均は96.8%で、昨年度と同様に9割強という評価をいただきました。以下重点目標ごとの結果です。



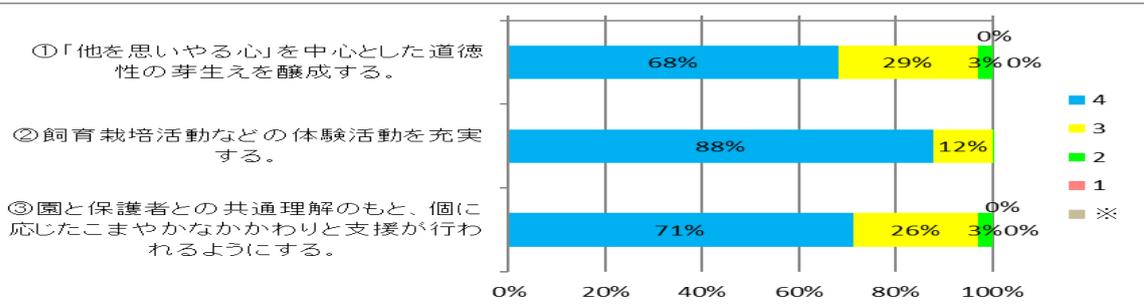
重点目標Ⅰ 主体的に学び行動する基礎の育成



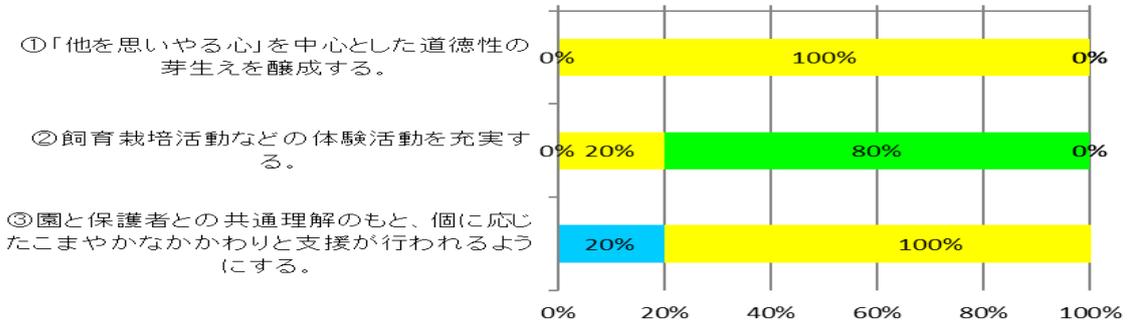
○重点目標Ⅰの保護者の「よくあてはまる」「あてはまる」の合計の平均は、98.5%と昨年度より高い評価です。①の項目では、幼稚園は、保護者との信頼関係を築きながら、降園時、個人面談等で、保護者に対し、幼児の具体的な姿や成長、課題を伝えるようにしてきました。引き続き、全教員が幼児の実態や指導について情報を共有し、丁寧な指導を重ねていきます。②の項目では、新型コロナウイルス感染症予防対応から、学年を超えた直接的なふれあいを縮小する必要性がありました。そのため、保護者にとって、他学年の活動をほとんど知らないという方もいるのが実情です。保護者会や写真掲示等による紹介に加えて、動画やエピソード紹介など、より伝わる工夫が必要と感じます。教員にとっては、互いの遊びや姿に刺激を受けながら、憧れや親しみをもてるような交流活動を充実させていくことが課題です。

## 重点目標Ⅱ 豊かな人間性の基礎の育成

保護者



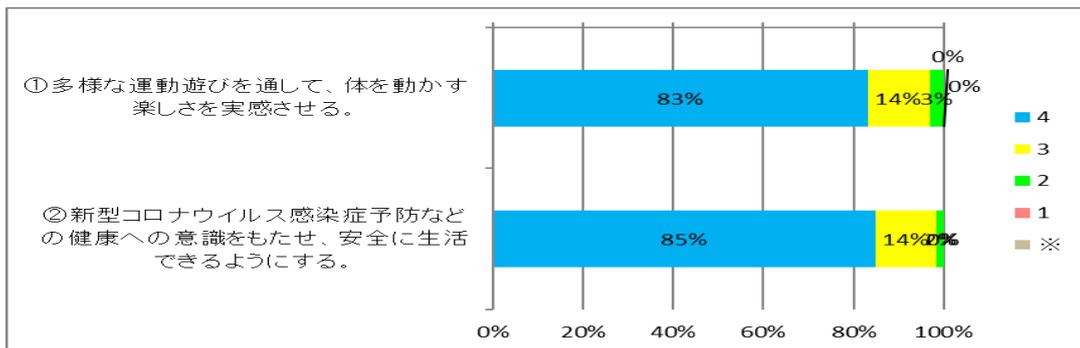
教員



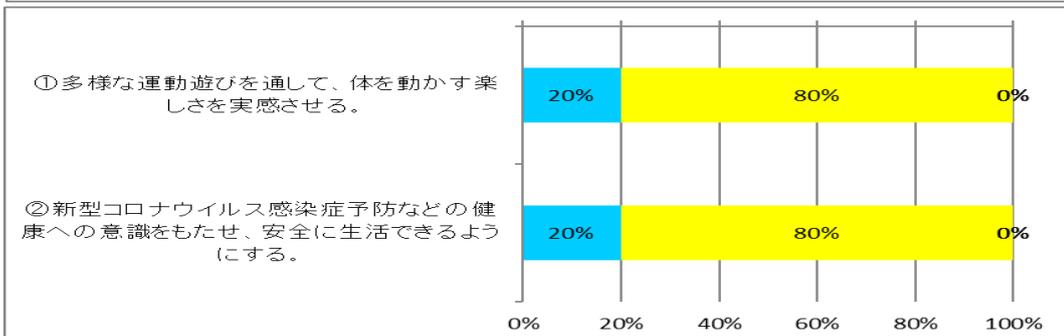
○重点目標Ⅱの保護者の「よくあてはまる」「あてはまる」の合計の平均は98%と、昨年度より高い評価でした。その中で①の『道徳性の芽生え』については、人とかかわりを通して思いやりの気持ち、善悪の区別、場に応じた行動などを身に付けていきます。幼児の心情面や集団生活で学ぶことを、教師が具体的な姿を通して、伝えていくことが課題です。②の『飼育栽培活動などの体験活動』では、新型コロナウイルス感染症対策のため、栽培物の調理・会食は実施していませんが、土に触れる経験、カブトムシの飼育などを通して、幼児の気付きや経験の価値を伝えたことで、保護者にも関心をもってもらえたかと思います。教員の課題としては、環境面で土や砂に十分に触れて遊ぶことが難しいことがありました。遊びを中心にした栽培計画・環境構成の工夫を行い、できることを探っていきたいと思います。

## 重点目標Ⅲ 健康な体力・安全な生活の素地の育成

保護者



教員

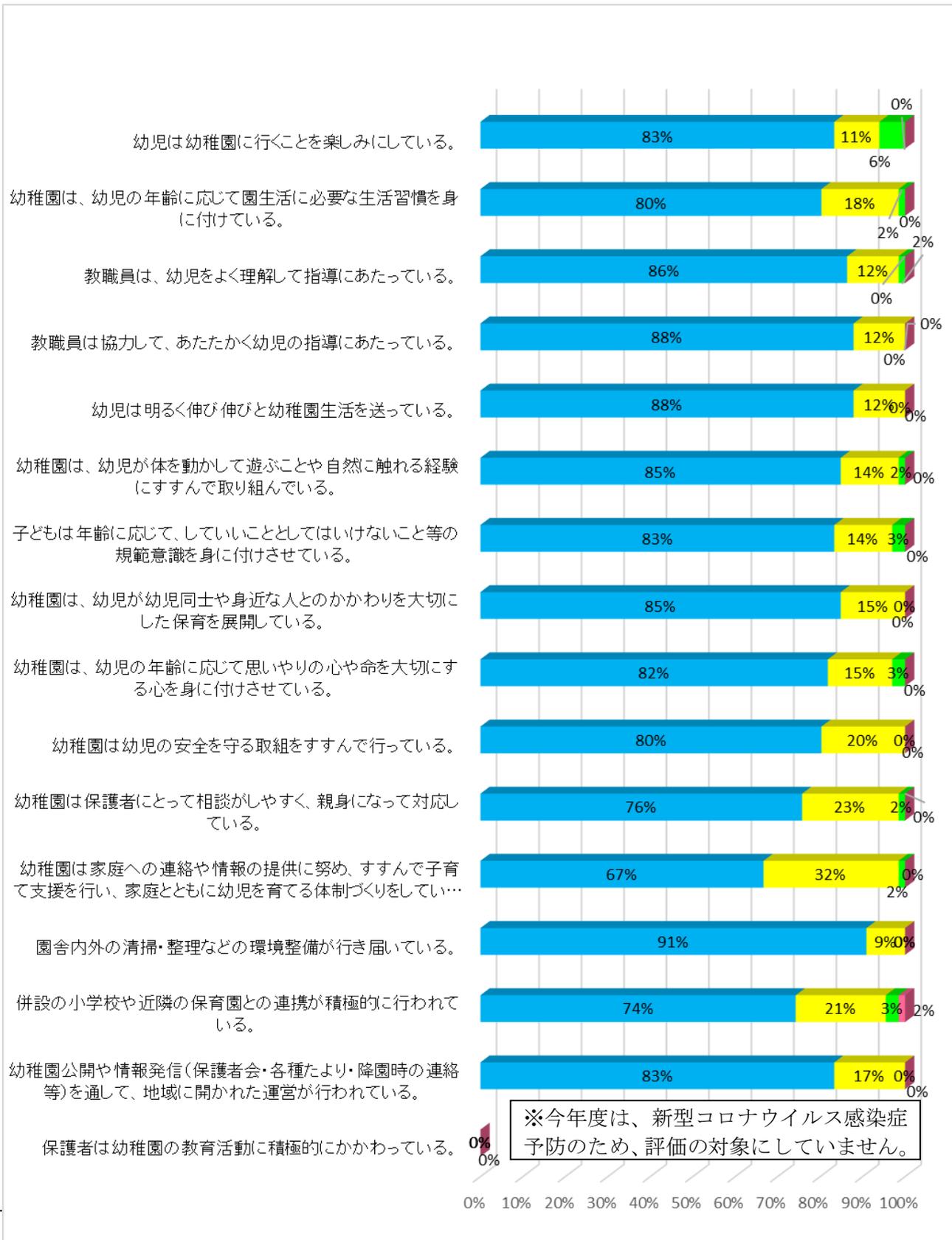


○重点目標Ⅲの「よくあてまはる」「あてまはる」の合計の平均は98%と昨年度とほぼ同様の評価です。個人差があり、自ら戸外で遊ぶことに消極的な幼児もいますが、学級全体で遊びの時間を確保したり、遊びの場を設定したりして、思わず体を動かしたくなるような工夫をしています。運動遊び教室や投げける動きが経験できるよう、発達に応じた遊びを取り入れてきました。今後も、多様な動きを取り入れ、家庭への運動遊びの啓発を進めていきたいと思ひます。

<重点目標以外の評価における達成状況及び達成のための取組状況>

**保護者アンケートによる評価**

★全方位的な評価として、教員12項目、保護者15項目での評価を行いました。



#### ○保護者による評価

「よくあてはまる」「あてはまる」の評価の平均は、98.4%でした。少人数ではありますが、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という回答もありました。

『幼稚園に行くことを楽しみにしている』という項目で、「あてはまらない」が、6%の回答でした。要因の一つに、登園時、気持ちが幼稚園に向かない姿が年少組によく見られ、保護者も園生活が見えない分、心配に思われることがあると思います。幼稚園では、引き続き一人一人のペースや抱えている思いを受け止め、気持ちが前に向くようお子さんに寄り添いながら受け入れていきたいと思っています。

『相談がしやすく親身になって対応』の項目で、少人数ですが、「あてはまらない」と回答された要因として、保護者が求めている対応と幼稚園の考える対応にずれが生じていたのかもしれない。全職員で情報共有し、担任だけでなく、園長・主任からの声掛けを含めて安心して相談できる体制づくりを行います。

『子育ての支援』の項目も同様、各家庭の環境や要望を丁寧に把握し、保護者と園がやりとりを重ね、よりよい方法を検討し、実践していきたいと感じています。

自由記述欄や行事ごとのアンケートでは、「コロナ禍でも行事が開催され、貴重な機会となっている」「発達に合わせた運動を取り入れていただき、ありがたい」「子どもの成長が見られ、今後が楽しみ」などうれしい感想が寄せられています。今後も、教育活動の情報発信に努め、家庭と幼稚園との連携による学びの連続性の大切さを伝えていきたいと思っています。

#### ○教員による評価

「指導計画・内容」「研修」「情報提供」の項目では、改善を要するという評価がありました。

「指導計画・内容」については、担任間で、3学年の見通しをもった指導内容を共有し、活動の導入、展開、その後の援助まで、意見交換しながら話し合いを進めていけるようにします。

「研修」については、園内研究の充実に向け、担任全員で教材研究に努めたり、意見を交換しあったりして、保育の質の向上に努めます。また、外部の研修への参加が減少していますが、オンライン参加等にも学びたい研修に積極的に参加し、園の保育に還元していけるようにします。

「情報提供」については、新型コロナウイルス感染症対策のため幼稚園公開が十分に行えませんでした。幼児自身も、保護者が園内にいる状態に慣れず、普段とは違う姿となりました。その分、写真掲示やホームページの更新の頻度をあげていますが、より教育活動を理解してもらうために、工夫が必要と感じます。(写真に経験している内容のコメントや、幼児のつぶやき等を添える。動画の活用。製作物の紹介など。)

#### <今後の改善方策>

○幼稚園教育要領に基づき、遊びを中心とした教育活動を進めていきます。園内研究会、研修の充実を図り、幼児期にふさわしい生活・遊びの実践を行っていきます。

○危機管理マニュアルを基にして、園内の安全な環境作りと体制を日々確認していきます。また、幼児の行動を予測し、教職員全体で安全管理していく意識を高めるようにしていきます。幼児が安全な遊び方、過ごし方を身に付けられるよう指導を行い、具体的に保護者にも発信します。

○運動遊び推進園として、多様な動きを取り入れた遊びや活動を行う中で、投げる動きを意識した遊びや環境の工夫がより必要と感じています。3年間の発達を踏まえた、指導のねらいや内容、場の活用方法など、教師間で共有し実践していきたいと思っています。

○併設小学校と連携する中で、教員同士が互いの教育活動の理解を深め、互惠性のある交流を実施してまいります。また、近隣の小学校・幼稚園・保育園との連携も深め、就学前教育の充実を図ります。